

福岡県

- 福岡県の年間商品販売額は卸売業の7割、
小売業の3割強が福岡市に集中 -

福岡県の事業所数をみると、卸売事業所では福岡市が47.4%を占め、次いで、北九州市の順となっています。小売商店では27.0%を福岡市が占め、次いで、北九州市が22.0%を占めています。年間商品販売額をみると、卸売業の71.6%を福岡市が占めています。小売業では35.6%を福岡市が占め、次いで、北九州市の順となっており、福岡市と北九州市で福岡県の小売年間商品販売額の56.0%を占めています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が37.5%と最も高く、次いで、住宅地区の割合が高くなっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型が最も多く、駅周辺型はそれに次いでいます。また、大型ショッピングセンターが開業したことからロードサイド型の商店数も大きく増加しています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

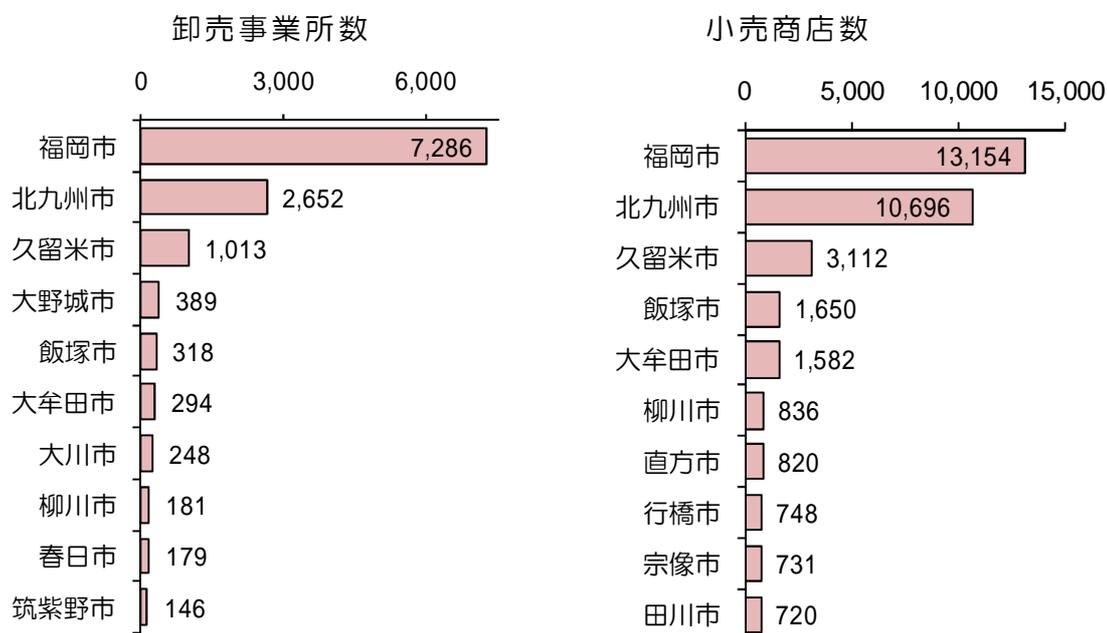
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
福岡県計	64,043	5	495,152	5	22,126,399	4	
卸売業計	15,385	4	166,141	4	16,770,215	4	
業種別	各種商品卸売業	54	4	882	4	541,166	4
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	77	13	493	9	22,202	12
	衣服・身の回り品卸売業	914	5	8,627	6	371,240	8
	農畜産物・水産物卸売業	1,291	8	16,570	5	1,513,259	5
	食料・飲料卸売業	1,851	4	23,952	4	2,363,316	4
	建築材料卸売業	1,656	7	13,694	5	1,167,632	5
	化学製品卸売業	829	4	6,759	4	741,175	4
	鉱物・金属材料卸売業	791	4	9,268	4	3,196,362	4
	再生資源卸売業	372	6	3,144	6	150,085	5
	一般機械器具卸売業	1,487	4	13,653	4	1,025,588	5
	自動車卸売業	734	7	7,103	7	395,125	11
	電気機械器具卸売業	1,075	4	15,110	4	1,847,147	4
	その他の機械器具卸売業	672	4	6,893	5	402,667	5
	家具・建具・じゅう器等卸売業	692	5	6,566	4	329,698	4
	医薬品・化粧品等卸売業	841	4	13,099	4	1,121,785	4
	他に分類されない卸売業	2,049	4	20,328	4	1,581,766	4
	小売業計	48,658	6	329,011	9	5,356,185	9
	各種商品小売業	222	5	24,059	9	655,433	8
	織物・衣服・身の回り品小売業	7,359	6	31,865	6	412,748	6
	飲食品小売業	17,438	5	134,410	9	1,687,711	9
自動車・自転車小売業	3,288	7	21,086	8	596,652	9	
家具・じゅう器・機械器具小売業	3,970	6	22,575	5	531,009	5	
その他の小売業	16,381	7	95,016	9	1,472,632	9	
医薬品・化粧品小売業	4,122	5	20,684	7	312,518	9	
農耕用品小売業	388	13	1,867	10	50,242	8	
燃料小売業	2,023	6	14,359	6	460,256	8	
書籍・文房具小売業	1,949	7	22,289	9	150,528	9	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	1,120	8	6,618	8	99,152	8	
写真機・写真材料小売業	114	10	441	10	5,385	10	
時計・眼鏡・光学機械小売業	864	7	3,291	6	36,648	8	
他に分類されない小売業	5,801	6	25,467	8	357,901	6	

2. 市町村別の状況

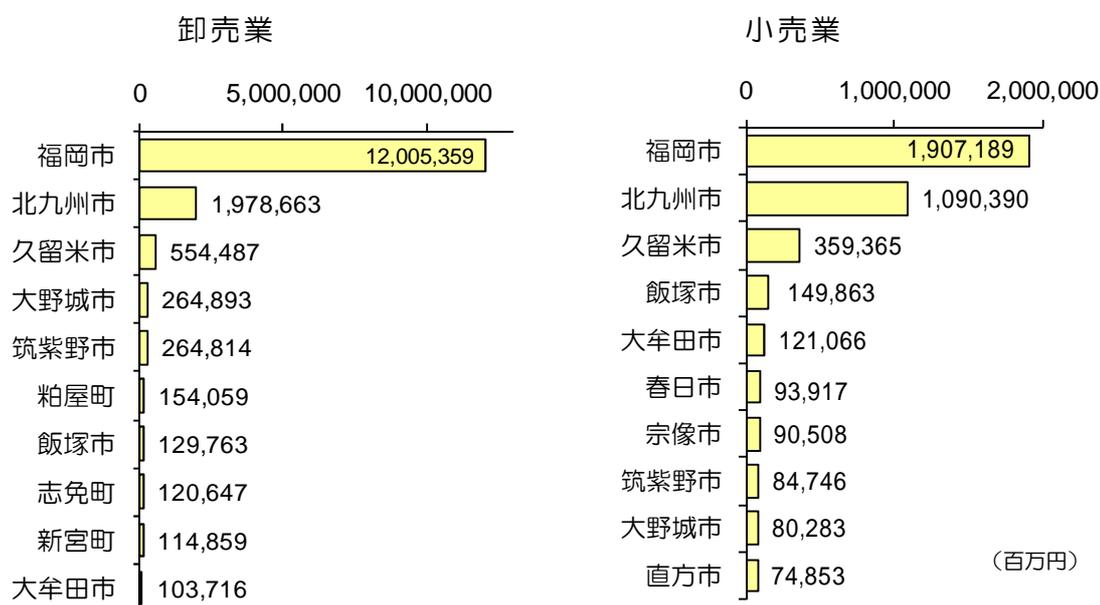
福岡県の事業所数をみると、卸売事業所では福岡市が47.4%を占め、次いで、北九州市が17.2%となっています。小売商店では福岡市が27.0%、北九州市が22.0%を占めています。

年間商品販売額をみると、福岡市は卸売業の71.6%を占め、小売業の35.6%となっています。また、福岡市と北九州市で福岡県の小売業の56.0%と半数以上を占めています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

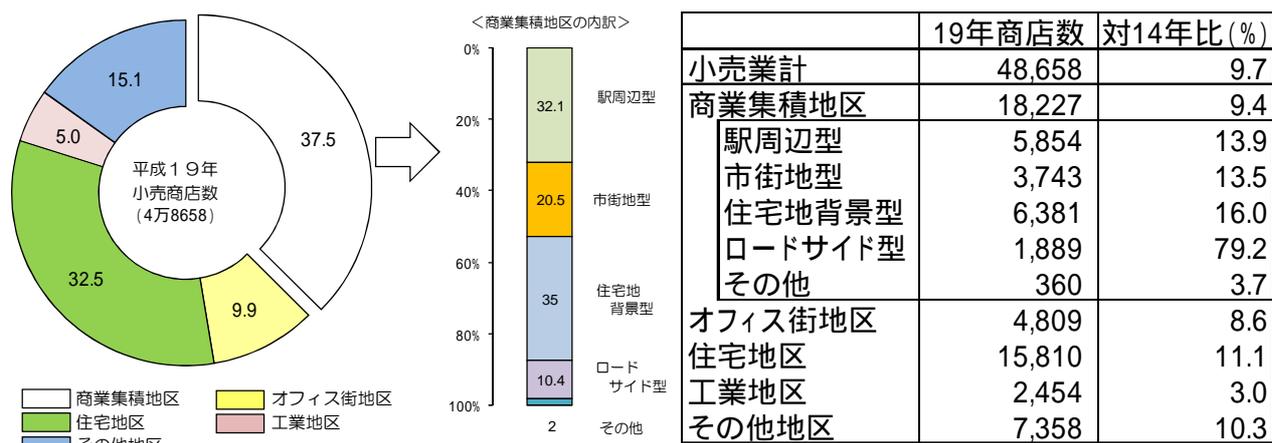


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、商業集積地区の割合が37.5%と最も高く、次いで、住宅地区の割合が高くなっています。商業集積地区の内訳では住宅地背景型が35.0%と最も多く、次いで、駅周辺型となっています。また、大型ショッピングセンターが開業したことからロードサイド型の商店数も伸びています。



4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では1位が「電気機械器具(家電を除く)」、2位が「他の食料・飲料」となっており、ともに1兆円を超えています。

【販売上位10品目】(平成19年)

